

特殊詐欺被害の防止について

公益社団法人 北海道宅地建物取引業協会

北海道警察本部生活安全企画課によりますと、平成 27 年 8 月末の北海道内における振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の認知件数は 191 件、被害総額は約 7 億 1,000 万円と、昨年同期と比べ認知件数で 48 件、被害総額で約 9,100 万円と大幅に増加し、極めて深刻な状況にあります。

また、宅配便等を利用し、犯人に現金を送付してだまし取られる事案では、大都市圏において、犯人グループが、内見を装うなどして事前に集合住宅の空き室情報を入手し、同室に現金を送付させ、室内で現金を受領してだまし取る手口が頻発しており、北海道内においても、同様の事案が発生しております。

つきましては、被害防止のための自主防犯対策を強化されますようお願いいたします。

(1) 空き室管理の徹底

犯人グループは、不動産事業者（管理担当者）が案内することなく、電話で合鍵の場所を教示してもらい、部屋を自由に内見できる場合を悪用しています。

- ① 空き室の確実な施錠と鍵の保管管理の徹底
- ② 空き室の把握と定期的な点検

(2) 空き室の集合ポスト等への投入防止対策

空き室の集合ポスト等は、南京錠等で施錠するとともに、投入口を内側から厚紙・ガムテープ等でふさぐほか、ポスト等の外側の見やすい場所へ「配達厳禁」等と表示するなど郵便物等の投入防止対策をお願いいたします。

(3) 不審者等発見時の通報

空き室等に入入りする不審者を発見した際は、直ちに 110 番するなど警察への通報をお願いいたします。

集合住宅の「空き室」対策へのお願い

【集合住宅の空き室を悪用した手口】

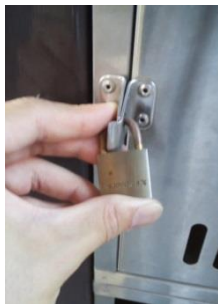
- 1 特殊詐欺グループが、内見を装うなどして事前に集合住宅の空き室情報を手に入れ、現金等を同部屋に送付させ、受取役が、
 - ・ 合鍵を利用して室内で受け取る
 - ・ エントランスや廊下等で配達員に声を掛けて受け取る
 - ・ 宅配ボックスを利用するなど様々な手口を使う。
- 2 キャッシュカード詐欺グループが、内見を装うなどして事前に集合住宅の空き室情報を手に入れ、ネット銀行などに口座開設を申し込んだうえ、カード送付先を同部屋に指定して送付させ、受取役が、
 - ・ 合鍵を利用して室内で受け取る
 - ・ ポストに投函された不在者通知を郵便局窓口等に持参してカードを受け取るなど様々な手口を使う。

【家主・管理会社の皆様へのお願い】

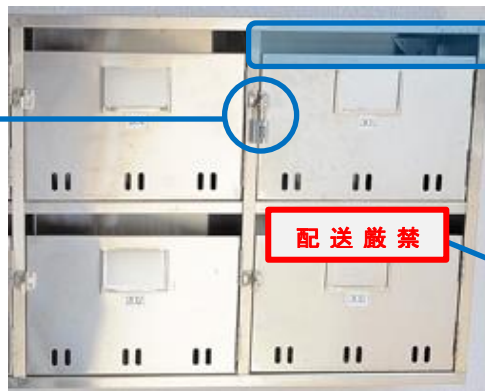
1 空き室管理の徹底

内見時に担当者が同行せず、「〇〇に鍵が置いてありますので、それで入って部屋を見てください」と案内する場合は散見され、犯人グループがこうした状況を悪用していますので、鍵の保管管理には十分に注意してください。
空き室の確実な施錠と定期的な点検や不審者等発見時の速やかな通報をお願いします。

2 空き室の集合ポストへの対策



勝手に使われないよう、南京錠等で施錠してください！



郵便物が入られないよう、投入口は内側から厚紙・ガムテープ等でふさいでください！

投入口に「配達厳禁」等と記載したシールを貼付しても効果があります！